

～ 第14回 はしもと café ミーティング ～

テーマ：公共施設管理にかかる民間協力（アダプト・プログラム）

- 開催日 平成29年8月24日（木）13時30分から
- 場 所 教育文化会館4階第6展示室
- 担当部署 橋本市建設部

趣 旨

本市では、市民が求める街づくりの実現に向け、皆様から多様なニーズや意見を把握するため「はしもとcaféミーティング」（市民会議）を開催しています。

今回は、「公共施設管理にかかる民間協力（アダプト・プログラム）」をテーマとして民間協力に参加、協力しやすい環境づくりを形成するため、取り組み方法等について、皆様の自由な意見を頂きたいと考えて、参加者を市内各種団体、事業所として開催しました。

★★アダプト・プログラムとは★★

ボランティア活動の新しい制度として、1985年アメリカ テキサス州運輸局がハイウェイに導入したのが始まりです。

アダプトは「養子縁組する」の意味で、アダプト・プログラムは「里親制度」等と訳されています。具体的には、ボランティアとなる市民と対象を疑似的に「養子縁組」に見立て、ボランティア市民を「里親」、対象を「養子」と位置づけ、行政がこれを支援し、清掃等のボランティア活動を定期的に行ってもらう制度です。

開催内容

- 開催挨拶
- アダプト・プログラム紹介ビデオ上映（（公社）食品容器環境美化協会）
- 取り組み事例紹介
- 参加者自己紹介
- 意見交換
 - ・貴団体、事業所がある地域の環境について
 - ・美化清掃ボランティア活動における問題点について
 - ・活動に際して重要と考えることについて
 - ・アダプト制度を導入する場合について
 - ・その他
- まとめ、アンケートの実施
- 意見発表
- 市長講評



26名の参加者が5グループに分かれて5つのテーマ毎に意見を出し合い、最後に各グループの代表者の方から、意見のまとめを発表していただきました。



グループから出された意見

貴団体、事業所がある地域の環境について

- 道路等の草が伸び放題
- たばこのポイ捨てが多い
- 不法投棄（大きいごみ）がある
- 子供とごみを拾っている
- 大阪に比べるとポイ捨ては少ない
- 周辺のごみ拾いをしている

美化清掃ボランティア活動における問題点について

- ごみの分別、収集、運搬
- 清掃時間、曜日等の設定が難しい
- 一部の活動は半強制的になっている
- 行政主導の活動が少ない
- 自ら主体的に行うのは難しい
- 自社の清掃も外部に委託している
- 時間的に人力的にきびしい

活動に際して重要と考えることについて

- 継続しやすいシステム作り
- ごみの分別、処分
- 怪我等の対処（応急処置）ができる体制づくり
- 行政による道具の貸出、ユニフォームの準備
- 学校等の教育の場に組み込んで欲しい
- PR活動

アダプト制度を導入する場合について

- モデル地区を設定してはどうか
- 通学路から始めては
- 目的を明確にすべき
- 短時間であれば可能
- 区長会等で広報してもらってはどうか
- 商工会の新聞を活用してはどうか
- 会社の近くであれば可能

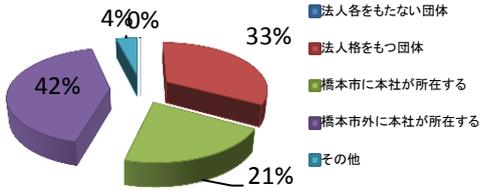
その他

- 行政内での連携が重要
- 行政からの周知案内が必要

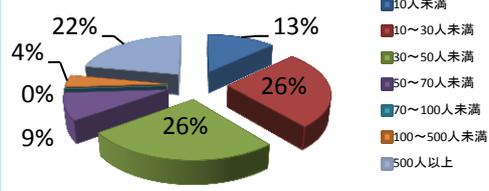
貴重なご意見を多数いただき、ありがとうございました。

アンケート結果

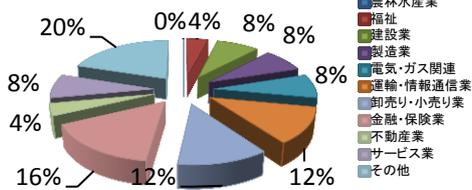
1. 貴団体、事務所の概要



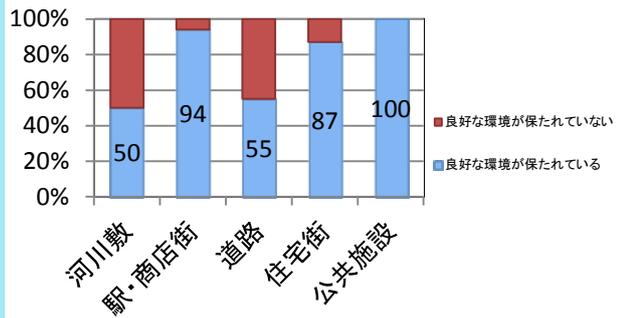
1. 貴団体、事務所の概要(従業員数)



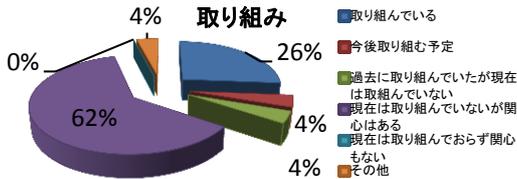
1. 貴団体、事務所の概要(業種)



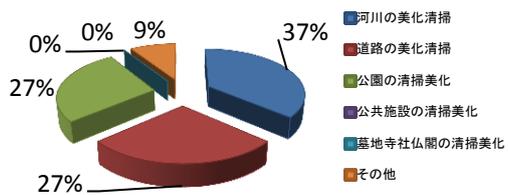
2. 地域の環境に対する認識



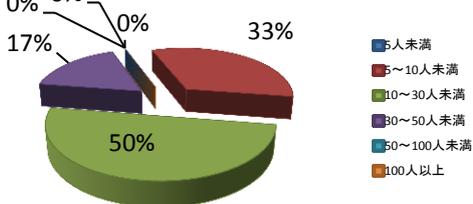
3-1. 貴団体、事務所の美化清掃に関する取り組み



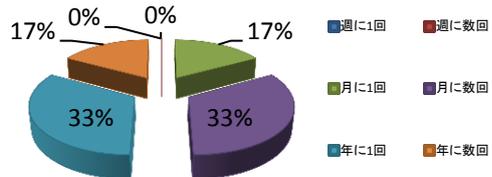
3-2. ボランティア活動の内容



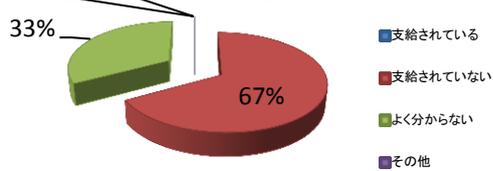
3-3. ボランティア活動の参加者数



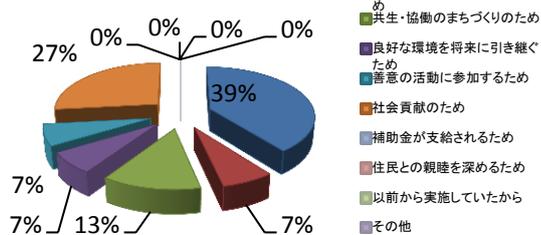
3-4. ボランティア活動の頻度



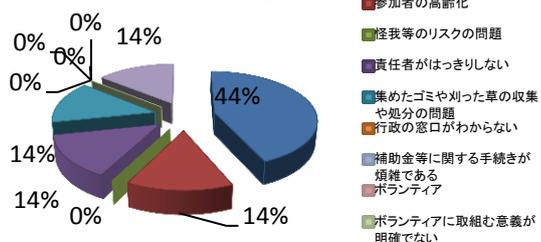
3-5. ボランティア活動に係る助成金・補助金の有無



4-1. ボランティア活動への取り組み理由



4-2. ボランティア活動に関する問題点



4-3. ボランティア活動に取り組んでいない理由

